

地域人

vol. 16



地域を守り
育む人たち



島根県西部初の中学硬式野球チーム

浜田ボーイズ 代表 中田 一成

浜田ボーイズを設立したきっかけ

浜田ボーイズは2015年1月に島根県西部に初めて発足した中学生の硬式野球クラブチームです。島根県西部地区はプロ野球選手を多く輩出している県内でも野球王国として知られて来ました。しかしながら近年では、島根県内の野球レベルが東高西低の時代へと変化してきています。その要因として、まず野球人口の減少があげられます。石見地区の中学軟式野球部では少ない人数の中、試合に勝つ喜びよりも大会に参加出来る喜びの方が主になっており高い志を持った子供達が思いきり野球が出来る環境ではないとの話を保護者の方々から聞きました。もう一つの要因は、全国的な中学野球の軟式から硬式への移行があげられます。今年の夏の甲子園大会出場の実に7割の選手が中学で硬式野球をしていました。島根県においても、東部地区には既に5チームの中学硬式野球チームが出来ており、その卒業生達が活躍する姿が年々目立って来ています。我々は、この現状を重く受け止め、野球が好きで高い志を持った子供達に思いきり野球の出来る環境を提供すると同時に、野球王国石見の復活を期待して、浜田ボーイズの設立を決定しました。

野球に対する思い、また心がけていること

浜田ボーイズでは『球道育心!』をスローガンに掲げ、野球の技術向上は勿論、野球を通して礼儀や一般常識を指導し社会に通用する人材の育成を心掛けています。また、関係するすべての人、ものへの感謝の気持ちを忘れずにより良いチーム作りを目指したいと考えています。私も中学・高校と野球部に所属し厳しい練習を経験しましたが、社会人となり今の自分を支える原動力は学生時代に野球を通じて学んだ忍耐力・競争力・団結力であると思っています。

野球チームをとおして、触れ合ったエピソード

近隣に硬式野球チームがない為、試合は県東部や県外への遠征になりますが、選手達は県内外の高い志を持った選手達とふれあう事で良い刺激を受け意識向上に繋が

ているようです。また行く先々で浜田ボーイズカラーを存分に発揮してくれるお陰で、練習試合や地区大会への参加要請をいただいたり、3月には松江、10月には安来のチームが浜田に合宿に来てくれました。大会成績の方も秋季中四国大会出場に続き、11月に開催された『第46回春季全国大会山陰支部予選』で準優勝し、本年3月に福岡で開催される『第14回西日本選抜優勝野球大会』に山陰支部代表として出場という設立1年目にしての快挙を達成してくれました。

今後、自分が地域に伝えたいこと、また夢

中学校の部活動の本質は競争原理の働く中で、各々が切磋琢磨し技術向上は勿論、精神力や忍耐力、競争力、団結力を培う事によって社会に通用する人材を育成する事であると考えます。我々は石見地区の中学軟式野球部に本来の部活動の本質を取り戻してもらおうと教育委員会とも合併チームを含んだ様々な意見交換をさせていただいています。より良い環境が構築され、硬式or軟式の選択肢を与えてあげることが出来れば、野球が好きなお子供達の『甲子園に行きたい』『プロ野球選手、メジャーリーガーになりたい』という輝かしい未来への手助けが出来ると考えています。

『全国制覇!』の目標を掲げ、将来浜田ボーイズから『甲子園球児』『プロ野球選手』『メジャーリーガー』が誕生する事を夢見ながら2年目のシーズンへと向かって行きたいと思えます。



梨田昌孝監督(東北楽天ゴールデンイーグルス)と浜田ボーイズ

Facebook <https://www.facebook.com/baseball.hamadaboys> 浜田ボーイズ で検索!